



中部学院大学との包括連携協定

協定の名称 地域活性化に関する包括連携協定

協定締結日 令和元年5月8日

協定の目的 活力ある地域社会の形成・発展や未来を担う人材育成
など地域社会に寄与すること

協定項目

- (1) 地域福祉の向上に関すること
- (2) 教育、子育て支援に関すること
- (3) 健康づくりに関すること
- (4) まちづくり、地域の活性化に関すること
- (5) 人材育成に関すること
- (6) その他、目的を達成するために必要な事項に関すること



中部学院大学との連携事例

① 地域と学校を繋ぐ取組みや拠点づくりへの参画

岐阜市では、地域と学校の連携拠点となる「ハートルーム」を設置し、シニアと子どもたちが共同して取組む活動の実践・検証を行っています。

このハートルームの活動に、スクールソーシャルワーカーを目指す学生が参画し、「シニアと子どもを繋ぐ架け橋」として積極的に活動しています。



② 学習支援室「こもれび」での子どもと学生の交流

岐阜市の助成事業によって設立された学習支援室「こもれび」に、人間福祉学科を中心とする学生がボランティアとして参加しています。

子どもたちと勉強や遊びを一緒に行うことで、「子どもたちの居場所づくりと可能性の発見」をサポートしています。



中部学院大学との連携事例

③ 岐阜市主催「高齢者大学」への講師派遣

高齢者の知識、教養を高め、生きがいづくりを図るため、多岐多様なテーマで講座を開催する「高齢者大学」に、中部学院大学から講師を派遣していただき、健康や医療に関する専門的な見地から興味深い講義をいただきました。

④ 地域連携授業に岐阜市職員を派遣

中部学院大学では、地域をもっと知り、地域で活躍できる人材育成をテーマとして、地域連携授業「美濃と飛騨のふくし」を開講しています。

令和元年度には、岐阜市福祉部の職員を講師として派遣し、岐阜市の高齢化の現状と課題について講義しました。

